

2 届出排出量及び移動量の状況

(1) 届出状況（別紙2及び別紙3参照）

平成25年度には、平成24年度に県内の事業者が把握した排出量及び移動量について、県内で1,449事業所から届出がありました。

表3 業種別の届出状況

業種名	届出事業所数	届出物質種類数	業種名	届出事業所数	届出物質種類数
食料品製造業	12	13	精密機械器具製造業	2	5
飲料・たばこ・飼料製造業	3	4	医療用機械器具・医療用品製造業	3	3
酒類製造業	1	1	その他の製造業	4	4
衣服・その他の繊維製品製造業	1	3	電気業	9	11
家具・装備品製造業	2	5	ガス業	1	1
パルプ・紙・紙加工品製造業	12	7	下水道業	40	32
出版・印刷・同関連産業	12	14	鉄道業	1	1
化学工業	137	189	倉庫業	9	19
医薬品製造業	12	17	石油卸売業	19	8
農薬製造業	2	6	鉄スクラップ卸売業	1	1
石油製品・石炭製品製造業	25	45	燃料小売業	622	9
プラスチック製品製造業	39	54	洗濯業	12	5
ゴム製品製造業	9	48	自動車整備業	18	6
窯業・土石製品製造業	17	21	機械修理業	3	4
鉄鋼業	11	26	商品検査業	1	3
非鉄金属製造業	24	36	計量証明業	4	3
金属製品製造業	80	32	一般廃棄物処理業（ごみ処分量に限る。）	47	35
一般機械器具製造業	48	30	産業廃棄物処分業	21	35
電気機械器具製造業	54	36	医療業	4	3
電子応用装置製造業	1	1	高等教育機関	9	10
輸送用機械器具製造業	73	40	自然科学研究所	31	17
鉄道車両・同部分品製造業	5	5	合計	1,449	229
船舶製造・修理業、船用機関製造業	8	14			

業種別及び市町村別の届出状況は、次のとおりです。

表4 市町村別の届出状況

市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数
横浜市	438	逗子市	2	綾瀬市	32	開成町	6
川崎市	196	三浦市	9	葉山町	5	箱根町	11
相模原市	113	秦野市	46	寒川町	23	真鶴町	—
横須賀市	59	厚木市	68	大磯町	5	湯河原町	2
平塚市	84	大和市	45	二宮町	1	愛川町	26
鎌倉市	24	伊勢原市	32	中井町	5	清川村	1
藤沢市	66	海老名市	23	大井町	8	合計	1,449
小田原市	49	座間市	22	松田町	1		
茅ヶ崎市	26	南足柄市	14	山北町	7		

※ 真鶴町では届出がありませんでした。

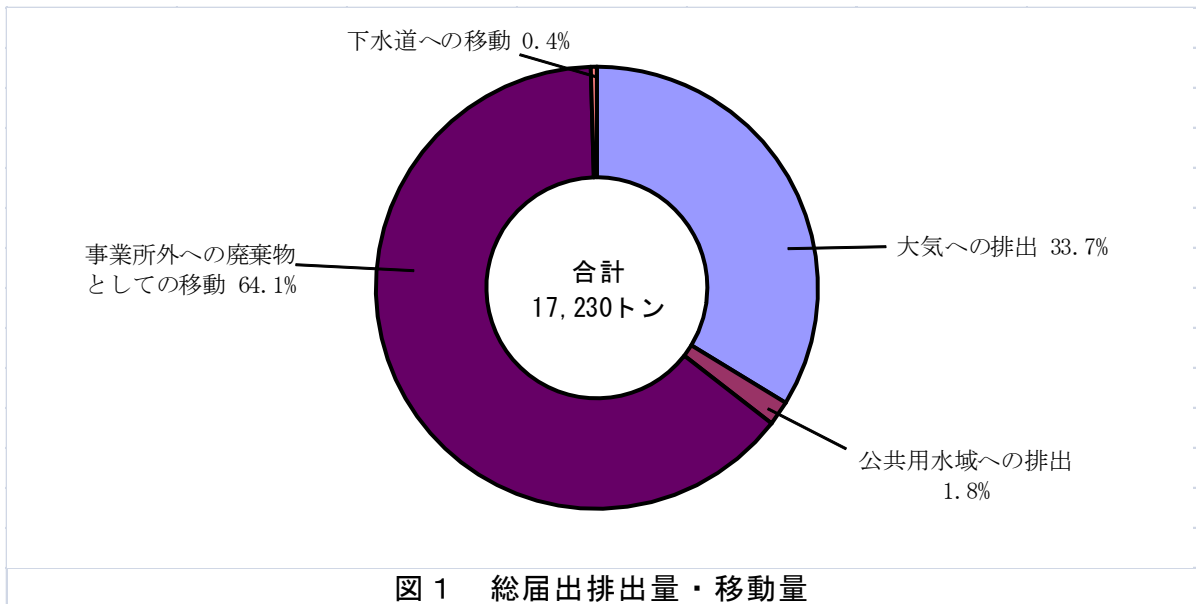
(2) 届出排出量・移動量の集計結果

ア 全物質の届出排出量・移動量

事業所から届出のあった排出量・移動量全体は、総届出排出量・移動量 17,230 トンであり、その内訳は、総届出排出量 6,118 トン、総届出移動量 11,112 トンでした。

総届出排出量の内訳は、大気への排出 5,808 トン、公共用水域への排出 311 トン、土壌への排出及び事業所内での埋立処分はありませんでした。

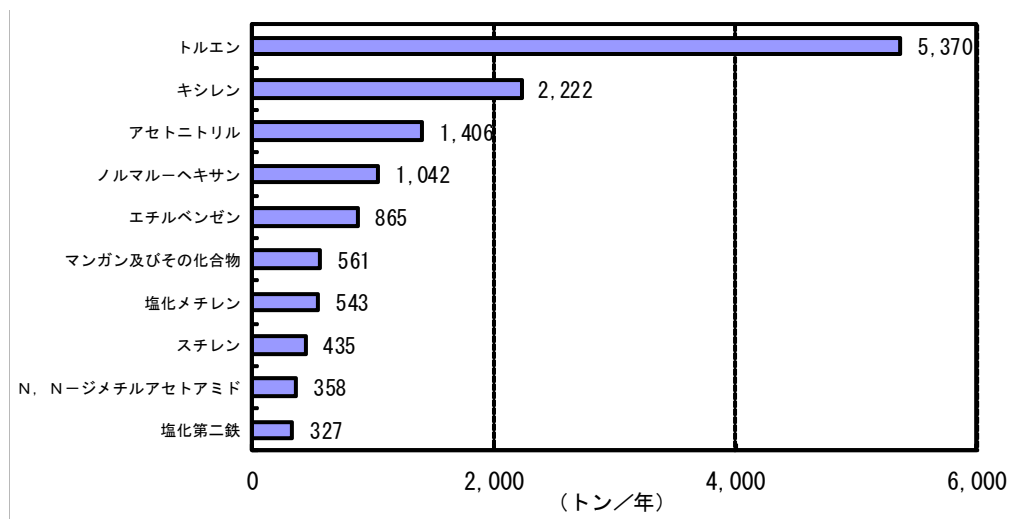
また、総届出移動量の内訳は、事業所外への廃棄物としての移動 11,036 トン、下水道への移動 76 トンでした。



イ 届出排出量・移動量の状況

届出排出量・移動量の多い上位10物質の合計は13,128 トンで、総届出排出量・移動量17,230 トンの76.2%に当たります。

上位10物質は次のとおりです。



ウ 届出排出量の状況

届出排出量の多い上位 10 物質の合計は 5,459 トンで、総届出排出量 6,118 トンの 89.2%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

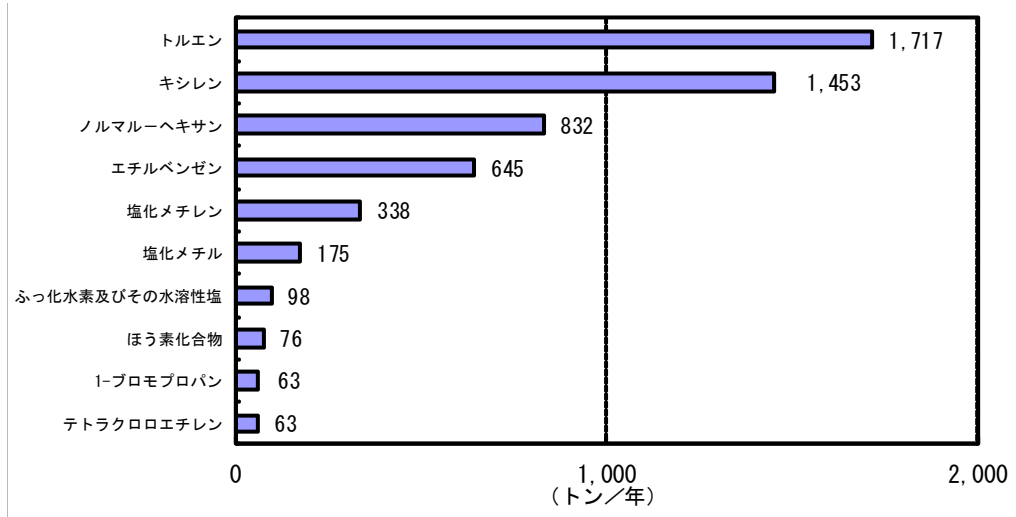


図 3 届出排出量上位 10 物質

エ 届出移動量の状況

届出移動量の多い上位 10 物質の合計は 8,255 トンで、総届出移動量 11,112 トンの 74.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

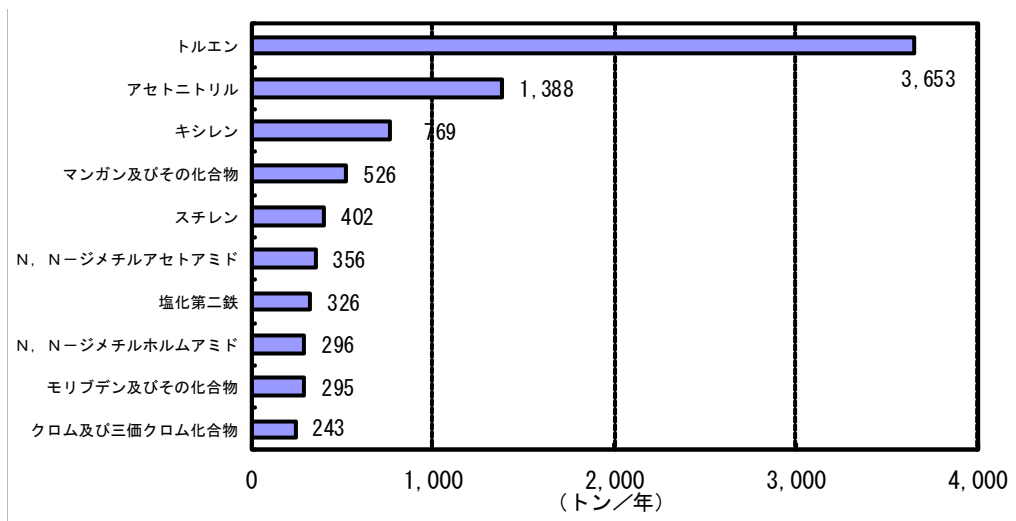


図 4 届出移動量上位 10 物質

オ 届出排出量の排出先ごとの状況

(7) 大気への排出状況

大気への排出量の多い上位 10 物質の合計は 5,381 トンで、大気への排出量全体 5,808 トンの 92.6%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

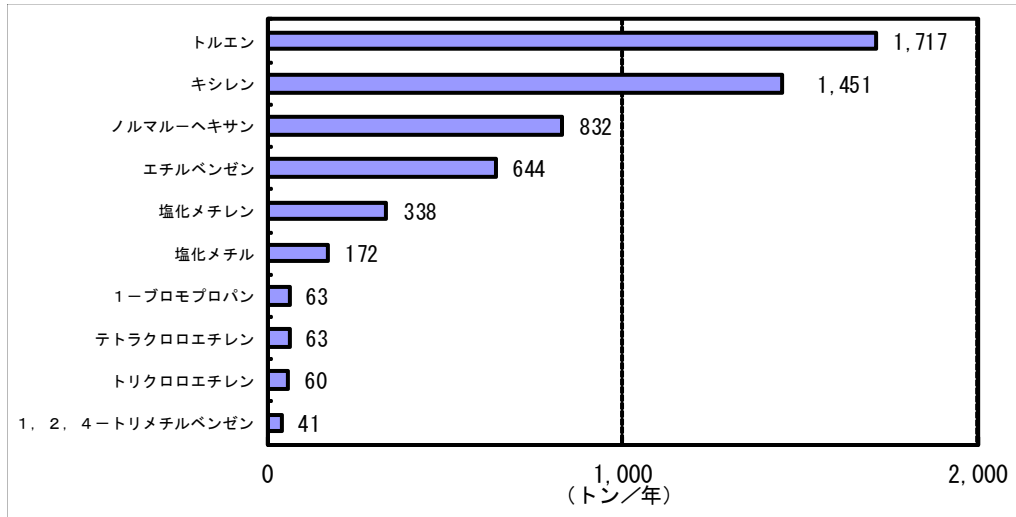


図 5 大気への排出量上位 10 物質

(イ) 公共用水域への排出状況

公共用水域への排出量の多い上位 10 物質の合計は 294 トンで、公共用水域への排出量全体 311 トンの 94.5%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

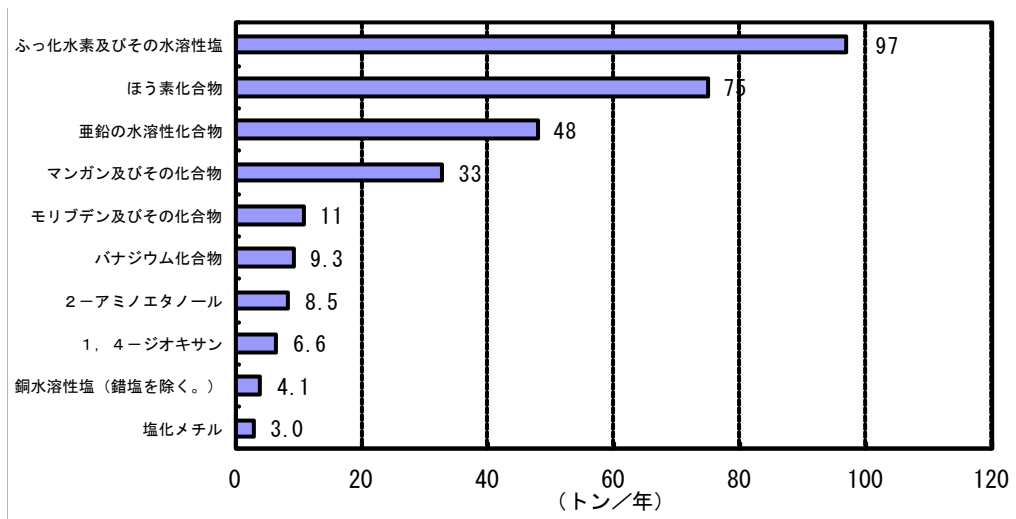


図 6 公共用水域への排出量上位 10 物質

(ウ) 土壌への排出状況

平成 24 年度は、土壌への排出を行ったという届出はありませんでした。

(イ) 事業所における埋立処分の状況

平成 24 年度は、事業所内で埋立処分を行ったという届出はありませんでした。

カ 届出移動量の移動先ごとの状況

(ア) 廃棄物としての移動量

廃棄物としての移動量の多い上位 10 物質の合計は 8,203 トンで、廃棄物としての移動量全体 11,036 トンの 74.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

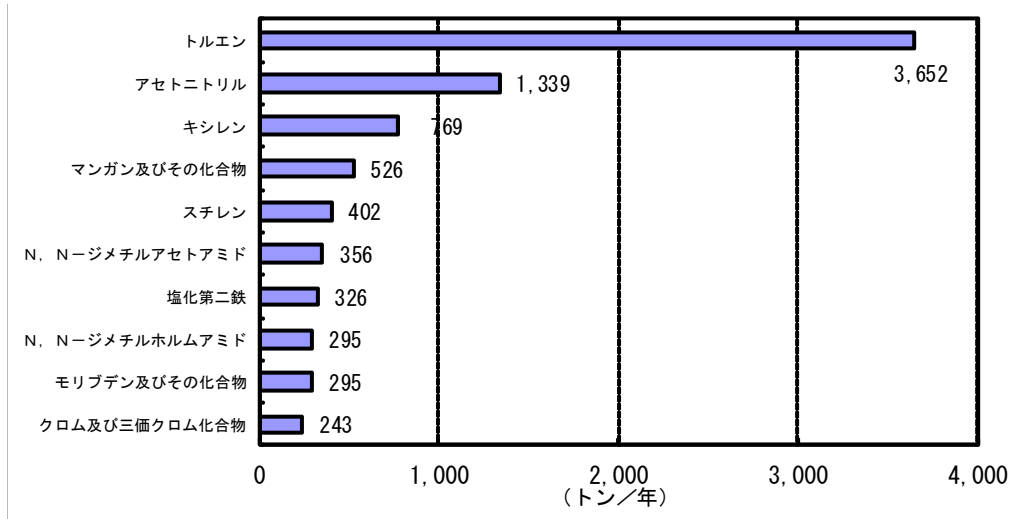


図 7 廃棄物としての移動量上位 10 物質

(イ) 下水道への移動量

下水道への移動量の多い上位 10 物質の合計は 70 トンで、下水道への移動量全体 76 トンの 92.1%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

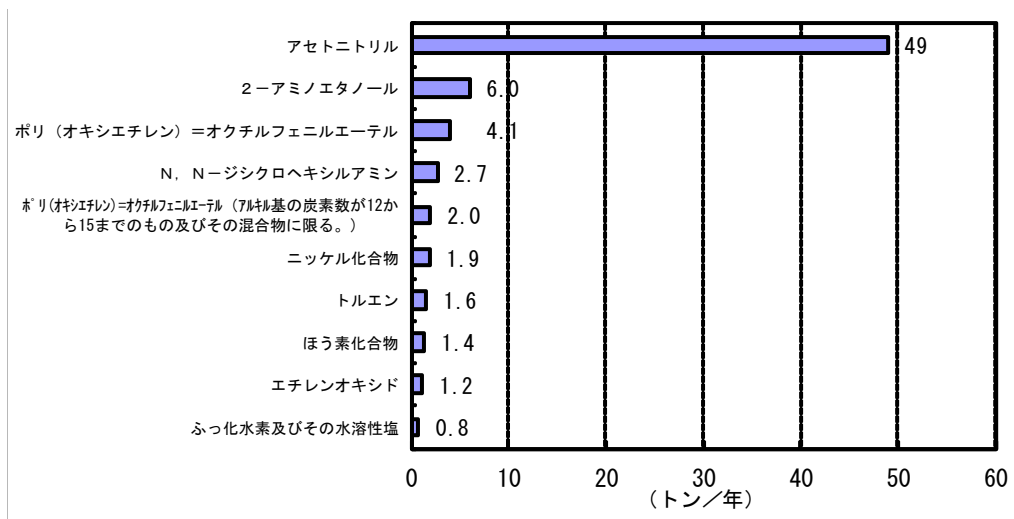


図 8 下水道への移動量上位 10 物質

キ 業種別の届出排出量・移動量の状況

(7) 届出排出量・移動量

届出排出量・移動量の多い上位 10 業種の合計は 15,135 トンで、総届出排出量・移動量 17,230 トンの 87.8%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

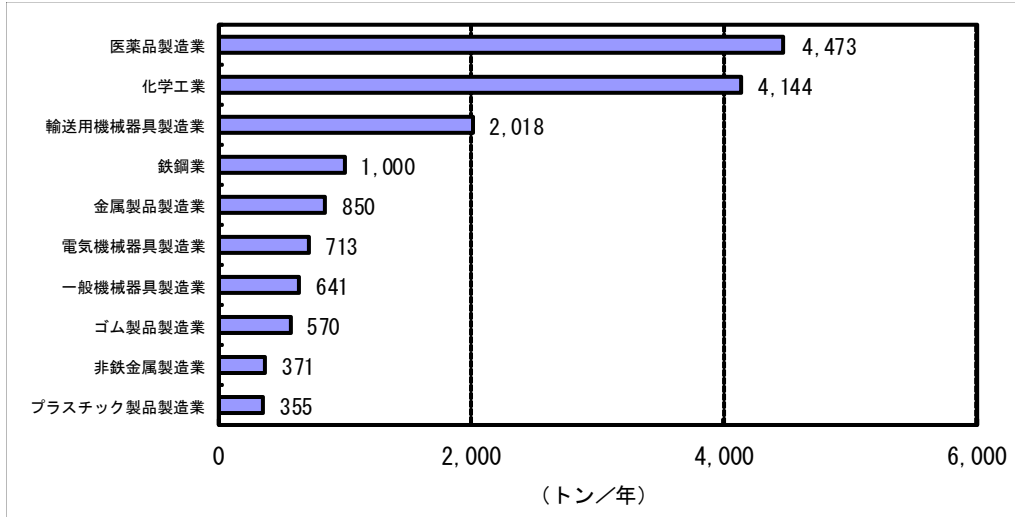


図 9 届出排出量・移動量上位 10 業種

(イ) 届出排出量

届出排出量の多い上位 10 業種の合計は 5,308 トンで、総届出排出量 6,118 トンの 86.8%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

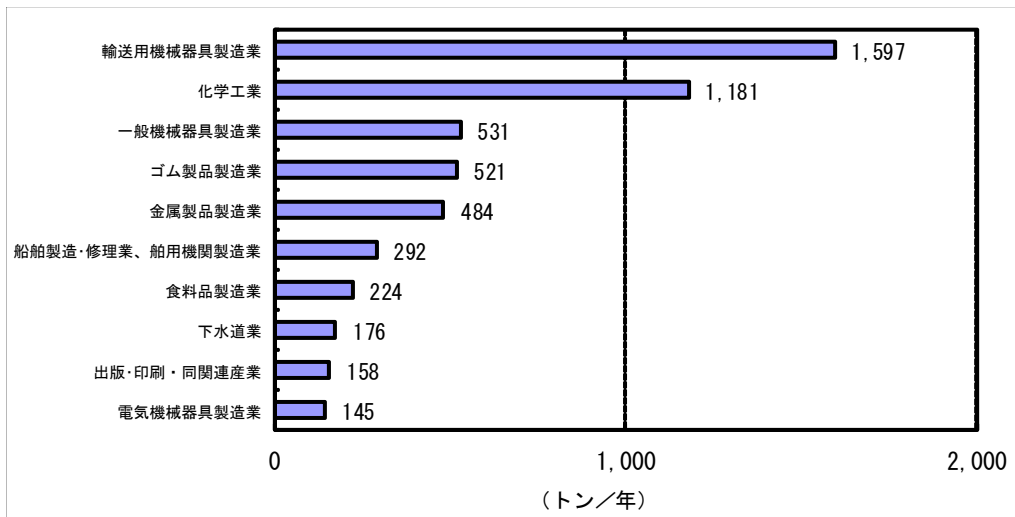


図 10 届出排出量上位 10 業種

(ウ) 届出移動量

届出移動量の多い上位 10 業種の合計は 10,471 トンで、総届出移動量 11,112 トンの 94.2%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

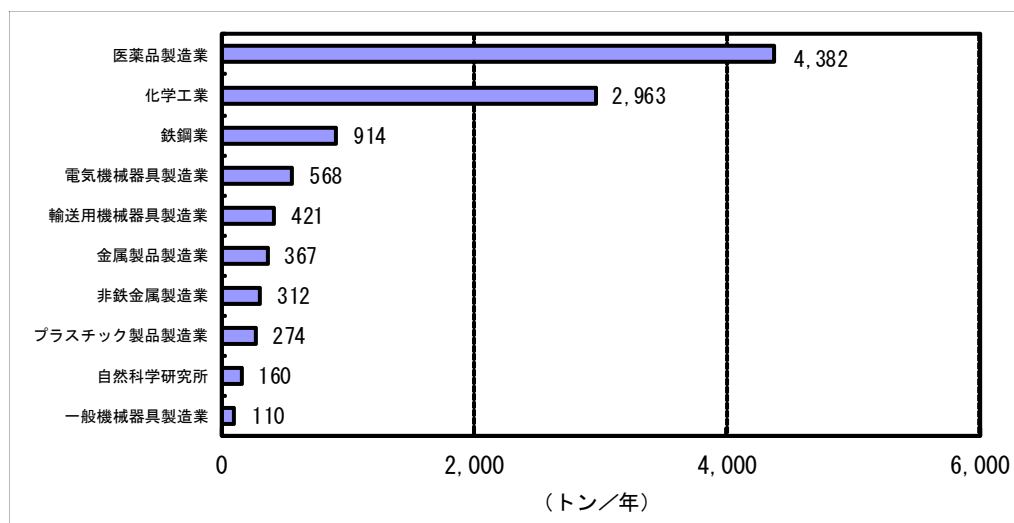


図 1 1 届出移動量上位 10 業種

ク 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の状況

化管法で定められている人に対して発がん性のある特定第一種指定化学物質 15 物質のうち、本県では次のとおり 12 物質について排出等がありました。

表 5 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量

(kg/年 (ダイオキシン類はmg-TEQ/年))

対象化学物質	届出排出量					届出移動量			合計
	大気	公共用水域	土壌	埋立	小計	廃棄物	下水道	小計	
石綿	0	0	0	0	0	24,900	0	24,900	24,900
エチレンオキシド	15,304	0	0	0	15,304	370	1,200	1,570	16,874
カドミウム及びその化合物	0	10	0	0	10	30	0	30	40
六価クロム化合物	2	28	0	0	29	33,169	101	33,270	33,299
塩化ビニル	12,000	28	0	0	12,028	0	0	0	12,028
鉛化合物	53	787	0	0	840	32,332	1	32,333	33,173
ニッケル化合物	165	1,476	0	0	1,642	85,083	1,906	86,989	88,630
砒素及びその無機化合物	6	152	0	0	158	4,580	0	4,580	4,738
1,3-ブタジエン	22,260	360	0	0	22,620	570	0	570	23,190
2-プロモプロパン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリリウム及びその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンジリジン=トリクロリド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンゼン	33,926	221	0	0	34,147	2,810	0	2,810	36,957
ホルムアルデヒド	14,164	345	0	0	14,509	69,364	121	69,484	83,993
ダイオキシン類	7,330	106	0	1,580	9,017	95,619	440	96,059	105,076
合計	97,880	3,406	0	0	101,287	253,208	3,328	256,536	357,823